

受付窓口へ提出する日付を記入

令和〇〇年〇〇月〇〇日

交付申請書（耐震改修工事費補助）

住宅耐震化促進事業補助金交付申請書

芦屋市長 宛

郵便番号も忘れず記入

（申請者）（〒659-8501）

住所 兵庫県芦屋市精道町7番6号

氏名 芦屋 太郎

（上記代理人）（〒659-8501）

住所 兵庫県芦屋市精道町〇番〇号

氏名 (株)精道建築設計事務所

建築 一郎

（連絡先の電話番号 0797-000-0000）

（連絡先のFAX番号 0797-000-0000）

本人申請の場合記入なし。

収支予算書等との整合

芦屋市住宅耐震化促進事業（耐震改修工事費補助）を下記のとおり実施したいので、補助金 1,100,000 円を交付願いたく、芦屋市住宅耐震化促進事業実施要綱第5条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

1 事業の内容及び経費区分（別記収支予算書）

工事業者との契約予定日を記入

※交付申請日より後の日付

※契約は交付決定日以降に行う必要があります

2 事業の着手予定年月日 令和〇〇年□□月□□日

事業の完了予定年月日 令和〇〇年△△月△△日

3 添付資料 芦屋市住宅耐震化促進事業実施要領の別表のとおりとする。

工事代金の

支払予定日を記入

別 記

収 支 予 算 書

補助金額は、合計額の 4/5 以内かつ
1,100,000 円以内とし、千円未満は
切り捨てして下さい。

1 収入の部

科目	予算額	摘要
補助金	1,100,000円	
自己資金	1,900,000円	
計	3,000,000円	

2 支出の部

科目	予算額	摘要
耐震改修工事費	3,000,000円	全体見積額 3,500,000円
計	3,000,000円	

収入及び支出の合計欄と耐
震改修工事費は、補助対象
工事費をご記入下さい。

- (注) 1 収支の計はそれぞれ一致する。 補助対象外工事も含めた額
- 2 補助金は、見込み額を記入する。
- 3 支出の部の摘要欄には補助対象外も含めた額（契約額）を記入すること。
- 4 業者からのキャッシュバックやクーポン券等の実質的な値引き額は補助対象外となる。

耐震改修工事住宅概要書（個表）

所得証明書で収入が一定額以下、兵庫県民かどうかを確認します※2

(耐震改修工事費補助)

住宅の名称	芦屋 太郎 邸		
住宅の所在地（地番）	兵庫県芦屋市精道町〇番〇号		1 申請者の住所と同一 2 申請者の住所と別
住宅の所有者	氏名	芦屋 太郎	
	住所	兵庫県芦屋市精道町7番6号 TEL0797-000-0000	
工事監理者 又は施工者	事務所等名	(株)精道工務店	
	担当者氏名	精道 二郎	TEL0797-000-0000
建築確認年月日	昭和51年 5月23日	第 1234号	・ 不明
検査済証	昭和51年10月29日	第 6789号	・ 不明
建築年月	昭和51年10月頃竣工		
形態種別	1 戸建住宅 2 その他共同住宅 3 マンション 棟数 1棟、戸数 1戸（うち補助対象戸数 1戸）		
	すべて備えていない場合は補助対象外です		
規模 <small>改修前：上段（ ）書き 改修後：下段</small>	地上 (2) 階	地下 (-) 階	塔屋 (-) 階
	建築面積 (81.15) m ²	延べ面積 (110.00) m ²	
設備要件	1 居室 2 台所 3 トイレ 4 出入口 50%以上の場合は補助対象外です		
店舗等併用住宅の場合の規模	店舗等の用に供する部分の床面積	45.00 m ²	延べ面積に対する店舗等の用に供する部分の床面積の割合
			40.9%
構造種別	1 木造 2 鉄骨造 3 鉄筋コンクリート造 4 鉄骨鉄筋コンクリート造 5 その他 ()		
備考			

添付書類

- ・ 店舗等の部分がある場合は、求積図・求積表（店舗等の部分の床面積の割合がわかるもの）

※1 所有者、建築年月の確認について

登記簿謄本の写し、固定資産税台帳登録証明、建築確認通知書又は検査済証の写し等で確認を行います。

※2 申請者の収入、兵庫県民の確認について

市役所・町役場が発行する、直近年度の所得証明書で確認を行います。なお、収入については、「総所得金額」欄の金額で判断します。

（収入要件：所有者の所得が 1,200 万円（給与収入のみの者は給与収入が 1,395 万円）以下）

“算定”を○で囲み、
“精算”を二重線で消す

住宅改修業者登録制度の登録番号を
ご記入ください。

事業者グループ登録を受けた事業者による申請の場合の記載例：
事業者グループ登録番号 R5-000
協力事業者グループ名称 〇〇〇

補助金 **算定・精算書**

住宅改修業者登録 兵住改〇〇〇第〇〇〇〇〇〇号
所在地 兵庫県芦屋市精道町〇番〇号
会社名 (株)精道工務店
代表者名 精道 二郎

下記のとおり **見積り** ・ **精算** 致します。

(耐震改修計画策定費補助、耐震改修工事費補助)

住宅の所有者	芦屋 太郎	
住宅の所在地	兵庫県芦屋市精道町〇〇番△△号	
住宅の建て方 ※1	<input checked="" type="radio"/> 戸建住宅 <input type="radio"/> その他共同住宅 <input type="radio"/> マンション	
(その他共同住宅の場合)	住戸数(a)	戸
	うち補助対象戸数(b) ※2	戸
総工事費 (c)=(a)	補助金額は、下表による金額	3,500,000円
補助対象工事費 (a)	とし、千円未満は切り捨て	3,000,000円
その他工事費 (b)	下さい。	500,000円
補助金額 ※3 (f)		1,100,000円

- ※1 住宅の建て方について、該当するものに○を付けてください。
- ※2 所得が1,200万円（給与収入のみの者にあっては給与収入が1,395万円）以下の県民が所有する住宅の戸数を記入してください。
- ※3 耐震改修工事費補助の交付申請に使用する場合は、以下の算定表に基づき算出した補助金額を記入してください。（耐震改修計画策定費補助の場合は記入不要）
- ※ 変更交付申請の際に使用する場合は、変更前を()書きで併記してください。

【補助金額(f)の算定表】

区分	補助金額		
戸建住宅	<input checked="" type="checkbox"/> 1,100,000円 (上限)		
	<input type="checkbox"/> 2,400,000円 = 耐震改修工事見積額 (3,000,000円) × 4/5		
その他共同住宅	<input type="checkbox"/> 円 = 600,000円 × () 戸 (上限)		
	<input type="checkbox"/> 円 = 耐震改修工事見積額 () × [補助対象面積 () m ² / 全体面積 () m ²] × 4/5		
マンション	<input type="checkbox"/> 円 = 耐震改修工事見積額 () × [補助対象面積 () m ² / 全体面積 () m ²] × 1/2		
	<input type="checkbox"/> 円 = 補助対象面積 () m ² × 25,100円		
	<input type="checkbox"/> 絶対限度額		
	延べ面積の区分	絶対限度額	該当区分にチェック
	1,000 m ² 以上 5,000 m ² 以内	3,000万円	<input type="checkbox"/>
5,000 m ² を超え 10,000 m ² 以内	6,000万円	<input type="checkbox"/>	
10,000 m ² を超え 15,000 m ² 以内	9,000万円	<input type="checkbox"/>	
15,000 m ² 超	13,500万円	<input type="checkbox"/>	

(注)・その他共同住宅及びマンションの補助対象面積、全体面積及び延べ面積は、専有面積(又は専用面積)を用いて算定するものとする。

耐震診断報告書

芦屋 太郎 様

耐震診断者氏名 建築 一郎

(一級) 建築士 (大臣) 登録第 43210 号

補助金交付申請者名を記入

建築士事務所名 (株)精道建築設計事務所

(一級) 建築士事務所 (兵庫県) 知事登録第98765号

芦屋 太郎 様の所有されている住宅の耐震診断の結果について、下記のとおり改修前及び改修後の耐震診断が行われた旨を確認しましたので報告します。この報告書及び添付資料に記載の事項は事実と相違ありません。

記

診断方法、根拠となる書籍名(〇年版も含めて)などを具体的に記入

1 住宅の名称	芦屋 太郎
所在地	兵庫県芦屋市精道町〇〇番△△号
2 耐震診断の方法	「2012年改訂版木造住宅の耐震診断と補強方法」による一般診断法
3 改修前における耐震診断結果 ^{*1}	(所見) X方向・Y方向とも開口部が多く、既存壁量が不足していることから、上部構造評点が1階 X方向 0.36、Y方向 0.59となっており、倒壊する可能性が高い。
4 改修後における耐震診断結果	(耐震改修の方針) 屋根の軽量化と耐震壁をバランスよく配置することにより、上部構造評点は両方向とも 1.0 を上回り、耐震性能の向上を図る。 (具体的な補強方法) (1) 耐震壁(モイスかべつよし)をバランスよく追加、増設する。 (2) 屋根を瓦からスレート板瓦に葺き替え、軽量化を図る。
5 備考	改修後の評点が著しく高い場合(2.0以上)は理由書を添付してください。 改修前における所見、耐震改修の方針等については、Is値など定量的な指標を示しながら出来るだけ具体的に記述して下さい。

【添付資料】耐震診断計算書(改修前後)

- 平成12年度から14年度に実施した「わが家の耐震診断推進事業」又は平成17年度から実施している「簡易耐震診断推進事業」の診断結果を添付することにより改修前の耐震診断計算書を省略することができます。(改修後の耐震診断計算書は省略できません。)

耐震改修工事実績公表同意書

工事実施業者（様式第耐震 2 号に記入した業者）が記入してください。

事業者グループ登録を受けた事業者による申請の場合の記載例：

事業者グループ登録番号 R5-000

協力事業者グループ名称 〇〇〇

住宅改修業者登録 兵住改〇〇〇第〇〇〇〇〇〇号

所在地（〒〇〇〇-〇〇〇〇）

兵庫県芦屋市精道町〇番〇号

会社名 (株)精道工務店

代表者名 精道 二郎

下記のとおり、本工事の実績を公表することについて、同意します。

記

1 業者について

住宅改修業者登録番号、会社名、所在地、連絡先（TEL）、実施件数

2 工事内容について

住宅改修業者登録番号、会社名、工事場所（市名のみ）、補助種別、建て方、構造、築年数、階数、戸数、延べ面積、改修前評点、改修後評点、補助対象経費、工事内容、延べ面積当り評点上昇分当り補助対象経費※

※補助対象経費÷延べ面積÷（改修後評点－改修前評点）

実績報告書（耐震改修工事費補助）

住宅耐震化促進事業実績報告書

芦屋市長 宛

郵便番号も忘れずに記入

（申請者）（〒659-8501）

住所 兵庫県芦屋市精道町7番6号

氏名 芦屋 太郎

（上記代理人）（〒659-8501）

住所 兵庫県芦屋市精道町〇番〇号

氏名 (株)精道建築設計事務所

建築 一郎

（連絡先の電話番号 0797-000-0000）

（連絡先のFAX番号 0797-000-0000）

交付決定通知日と番号を記入

令和〇〇年××月××日付け×××第1234号をもって交付決定のあった、芦屋市住宅耐震化促進事業に係る工事を下記のとおり実施したので、芦屋市住宅耐震化促進事業実施要綱第11条の規定により、その実績を報告します。

交付申請書に記載した日付を記入

記

- 1 事業の内容及び経費区分（別記収支決算書）
- 2 事業の着手年月日（令和〇〇年□□月□□日）
令和〇〇年◎◎月◎◎日
- 事業の完了年月日（令和〇〇年△△月△△日）
令和〇〇年##月##日

実際の契約日（契約書の日付）、代金支払日（領収書の日付）を記入
契約日は交付決定日以降の日

- 3 添付資料 芦屋市住宅耐震化促進事業実施要領の別表のとおりとする。

注意！決算書です

収 支 決 算 書

補助金額は、合計額の 4/5 以内かつ 1,100,000 円以内とし、千円未満は切り捨ててください。

科目	予算額	摘要
(補助金)	(1,100,000円)	
補助金	1,100,000円	
(自己資金)	(1,900,000円)	
自己資金	1,900,000円	
()	()	
()	()	
計	(3,000,000円) 3,000,000円	

収入及び支出の合計欄と耐震改修工事費は、補助対象工事費を記入

2 支出の部

科目	予算額	摘要
(耐震改修工事費)	(3,000,000円)	全体見積額
耐震改修工事費	3,000,000円	3,500,000円
()	()	
()	()	
()	()	
計	(3,000,000円) 3,000,000円	

合計金額は、契約書・領収書記載の金額と同じになります。
※契約書と領収書の金額は同じである必要があります。

- (注) 1 収支の計はそれぞれ一致する。
 2 申請内容を上段に () 書き、
 3 支出の部の摘要欄には補助対象外であることを記載すること。
 4 業者からのキャッシュバックやクーポン分等の実質的な値引き額は補助対象外となる。

“精算”を○で囲み、
“算定”を二重線で消す

領収書の日付より前

令和〇〇年〇〇月〇〇日

住宅改修業者登録制度の登録番号を
ご記入ください。

事業者グループ登録を受けた事業者による申請の場合の記載例：
事業者グループ登録番号 R5-000
協力事業者グループ名称 〇〇〇

補助金 算定・精算書

住宅改修業者登録 兵住改〇〇〇第〇〇〇〇〇号
所在地 兵庫県芦屋市精道町〇番〇号
会社名 (株)精道工務店
代表者名 精道 二郎

下記のとおり 見積り・**精算** 致します。

(耐震改修計画策定費補助 **耐震改修工事費補助**)

住宅の所有者	芦屋 太郎	
住宅の所在地	兵庫県芦屋市精道町〇〇番△△号	
住宅の建て方 ※1	<input checked="" type="checkbox"/> 戸建住宅 <input type="checkbox"/> その他共同住宅 <input type="checkbox"/> マンション	
(その他共同住宅の場合)	住戸数(a)	戸
	うち補助対象戸数(b) ※2	戸
総工事費 (c)=(a)	契約書・領収書の金額と同じ	3,500,000円
補助対象工事費 (a)	になります。	3,000,000円
その他工事費 (b)		500,000円
補助金額 ※3 (f)	補助金額は、下表による金額とし、千円未満は切り捨ててください。	1,100,000円

- ※1 住宅の建て方について
- ※2 所得が1,200万円（給与収入のみの者にあつては給与収入が1,395万円）以下の県民が所有する住宅の戸数を記入してください。
- ※3 耐震改修工事費補助の交付申請に使用する場合は、以下の算定表に基づき算出した補助金額を記入してください。（耐震改修計画策定費補助の場合は記入不要）
- ※ 変更交付申請の際に使用する場合は、変更前を()書きで併記してください。

【補助金額(f)の算定表】

区分	補助金額		
戸建住宅	<input checked="" type="checkbox"/> 1,100,000円 (上限)		
	<input type="checkbox"/> 2,400,000円 = 耐震改修工事見積額 (3,000,000円) × 4/5		
その他共同住宅	<input type="checkbox"/> 円 = 600,000円 × () 戸 (上限)		
	<input type="checkbox"/> 円 = 耐震改修工事見積額 () × [補助対象面積 () m ² / 全体面積 () m ²] × 4/5		
マンション	<input type="checkbox"/> 円 = 耐震改修工事見積額 () × [補助対象面積 () m ² / 全体面積 () m ²] × 1/2		
	<input type="checkbox"/> 円 = 補助対象面積 () m ² × 25,100円		
	<input type="checkbox"/> 絶対限度額		
	延べ面積の区分	絶対限度額	該当区分にチェック
	1,000 m ² 以上 5,000 m ² 以内	3,000万円	<input type="checkbox"/>
5,000 m ² を超え 10,000 m ² 以内	6,000万円	<input type="checkbox"/>	
10,000 m ² を超え 15,000 m ² 以内	9,000万円	<input type="checkbox"/>	
15,000 m ² 超	13,500万円	<input type="checkbox"/>	

(注)・その他共同住宅及びマンションの補助対象面積、全体面積及び延べ面積は、専有面積(又は専用面積)を用いて算定するものとする。

交付決定通知日と番号を記入

令和〇〇年〇〇月〇〇日

耐震改修工事実施確認書

本耐震改修工事は、令和〇〇年〇〇月〇〇日付け芦都建第〇〇〇〇号の住宅耐震改修補助金交付決定通知書のとおり実施しており、住宅耐震改修補助金交付申請書に記載している改修後の耐震性能を有することを確認しましたので、住宅耐震改修補助金交付決定通知書第6項に規定する耐震改修工事状況写真を添えて報告します。

確認者氏名 精道 二郎

(一級) 建築士 (大臣) 登録第 〇〇〇〇〇 号

建築士事務所名 (株)精道工務店

(一級) 建築士事務所 (兵庫県) 知事登録第〇〇〇〇〇号

□ 耐震改修工事状況写真

1 建築物の名称	芦屋 太郎 様邸
所在地	〒659-8501 兵庫県芦屋市精道町〇〇番△△号
2 工事写真撮影箇所図※	
(別紙のとおり)	

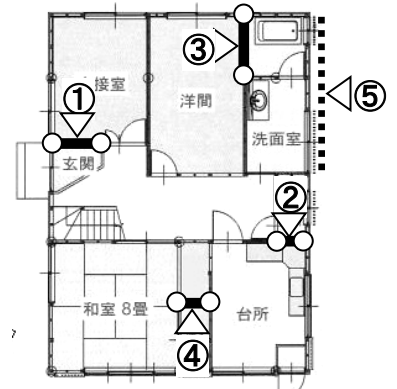
※ 工事写真撮影箇所図について

- (1) 右図の例にならって撮影箇所を図示してください (別紙可)。
- (2) 補強箇所を明示し、凡例を設ける等をして適宜補強方法を付記してください。
- (3) 次頁以降の工事写真には、工事写真撮影箇所図の補強箇所番号を明示してください。

※補強内容

- ①構造用合板による壁補強
- ②構造用合板による壁補強
- ③筋交い(たすき掛け)による壁補強
- ④筋交い(片筋交い)、構造用合板による壁補強
- ⑤基礎補修(エポキシ樹脂)

※△は施工方向を表す
※○は接合部補強を行う箇所を表す



※ 工事写真について

- (1) 工事写真は次頁様式を参考に、原則として施工箇所全数の施工前・施工中・施工後の写真を添付してください。

写真 No. 1 工事箇所 No. ①
工事内容 (構造用合板等補強 : 改修前)

写真 No. 2 工事箇所 No. ①
工事内容 (接合部補強 : 柱頭左)

(写真を添付)	(写真を添付)
---------	---------

写真 No. 3 工事箇所 No. ①
工事内容 (接合部補強 : 柱頭右)

写真 No. 4 工事箇所 No. ①
工事内容 (接合部補強 : 柱脚左)

(写真を添付)	(写真を添付)
---------	---------

写真 No. 5 工事箇所 No. ①
工事内容 (接合部補強 : 柱脚右)

写真 No. 6 工事箇所 No. ①
工事内容 (構造用合板補強 : 受材設置)

(写真を添付)	(写真を添付)
---------	---------

※ この用紙をコピーの上、お使いください。

(第 2 面 / ○○ 面)

※その他工事として屋根工事, 室内完成工事, 外観完成工事など各工程で写真を添付してください。(上記撮影箇所はあくまで記入例ですので, 可能な限り撮影してください。) 工事写真の撮り忘れ等により必要な書類を提出できなかったり, 交付決定時の工事計画と実際の工事が異なる場合等は補助金の交付が受けられない場合があります。

耐震改修工事実績公表内容報告書

芦屋市長 様

工事実施業者（様式第耐震 2号に記入した業者）が記入してください。

事業者グループ登録を受けた事業者による申請の場合の記載例：
 事業者グループ登録番号 R5-000
 協力事業者グループ名称 〇〇〇

住宅改修業者登録 兵住改〇〇〇第〇〇〇〇〇〇〇号
 所在地 (〒〇〇〇-〇〇〇〇)
 兵庫県芦屋市精道町〇番〇号
 会社名 (株)精道工務店
 代表者名 精道 二郎
 連絡先 (TEL) 0797-〇〇〇-〇〇〇〇

下記のとおり、本工事の実績について、報告し

記

ここに記載した内容及び業者情報が公表されますので、記入に当っては誤記等のないようにご注意ください。

①	工事場所(市名のみ)	芦屋市
②	補助種別	<input checked="" type="checkbox"/> 耐震改修工事費補助 <input type="checkbox"/> 簡易耐震改修工事費補助 <input type="checkbox"/> 屋根軽量化工事費補助
③	建て方	<input checked="" type="checkbox"/> 戸建住宅 <input type="checkbox"/> その他共同住宅 <input type="checkbox"/> マンション
④	構造	木造
⑤	築年数	昭和 51 年 10 月
⑥	階数	地上 2 階 地下 - 階
⑦	戸数	1 戸
⑧	延べ面積 (㎡)	110.00 ㎡
⑨	改修前評点	0.36
⑩	改修後評点	1.08
⑪	補助対象経費 (円)	3,000,000 円
⑫	工事内容	<input checked="" type="checkbox"/> 基礎、柱、はり、耐力壁等の補強工事 <input checked="" type="checkbox"/> 屋根軽量化工事 <input type="checkbox"/> 耐震改修以外の工事(補助対象経費に含んでいる場合のみ)
⑬	延べ面積当り評点上昇分当り補助対象経費※	37,879 円

屋根軽量化工事費補助の場合は記入の必要はありません。

表下の※の計算式によりご記入ください。

端数処理は四捨五入としてください。

※補助対象経費(⑪) ÷ 延べ面積(⑧) ÷ (改修後評点(⑩) - 改修前評点(⑨))

住宅耐震化促進事業補助金請求書

金 1,100,000 円也

記入しないこと。

ただし、芦屋市住宅耐震化促進事業補助金

<根拠>	補助金交付決定通知	[令和 第 年 月 日 号]
	補助金交付決定変更通知	[令和 第 年 月 日 号]
	補助金確定通知	[令和 第 年 月 日 号]

上記のとおり、補助金を精算（概算）払いによって交付されたく、芦屋市住宅耐震化促進事業実施要綱第15条第1項（第2項）の規定により、請求します。

年 月 日

記入しないこと。

芦屋市長 宛

(〒659-8501)

住 所 兵庫県芦屋市精道町7番6号

氏 名 芦 屋 太 郎



振 込 先

金融機関名	〇〇銀行	支店名	〇〇支店
口座番号	〇〇〇〇〇〇〇〇	預金種類	<input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 当座 <input type="checkbox"/> 貯蓄
フリガナ	アシヤ タロウ		
口座名義（漢字）	芦屋 太郎		